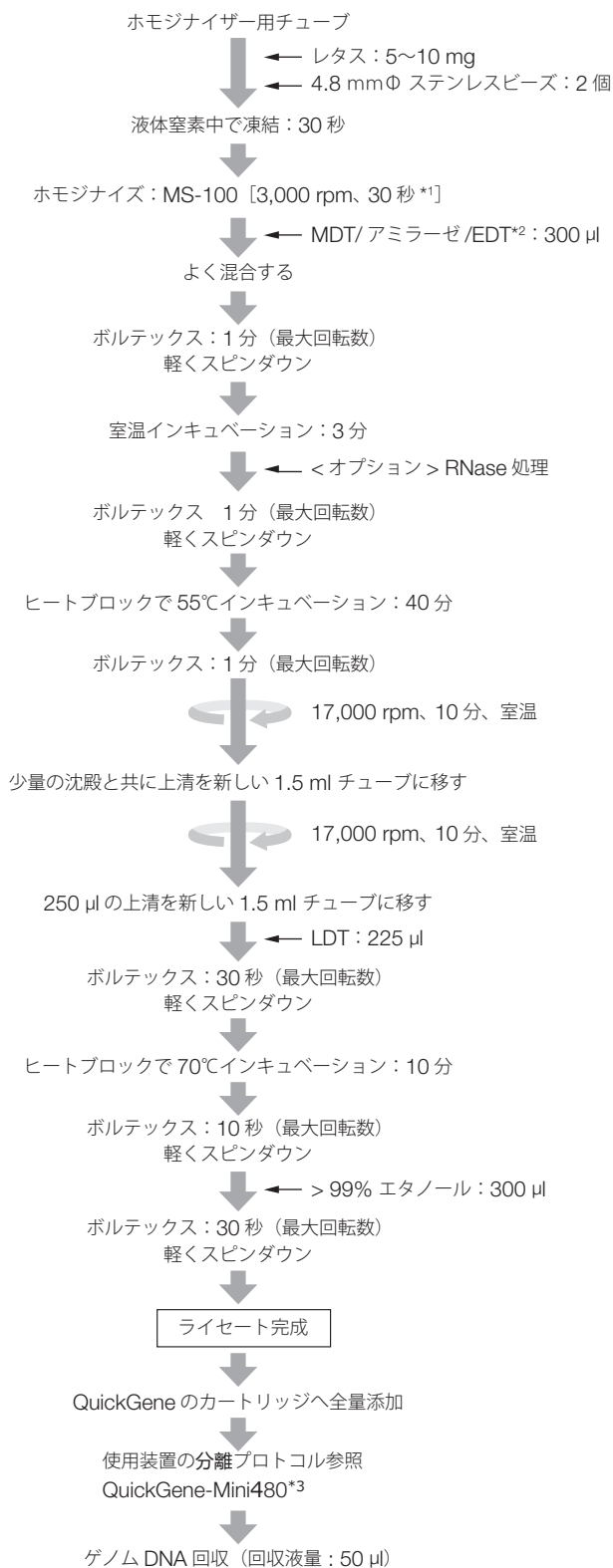


レタスからのゲノムDNA分離

プロトコル



*1 ホモジナイズで粉末状になる。

*2 1 サンプルにつき
 αアミラーゼ*...1.5 µl
 EDT (ProK).....30 µl
 MDT270 µl

*SIGMA A-3403

このプロセスで、アミラーゼは反応するが、ProKは反応しない。

ProKは、このプロセスで反応する。

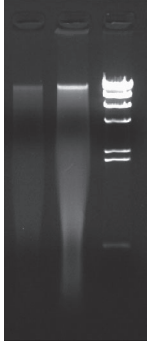
トラブルの場合 (PCR 反応が不良) このプロセスは削除。

*3 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他QuickGeneシリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

電気泳動図

1 2 M



1 : 5 mg レタス
2 : 10 mg レタス
M : λ -Hind III マーカー

1% アガロース
EtBr 染色
100V
30分
RNase 処理

検出機 : LAS-3000 (富士フイルム)

ゲノム DNA の収量

レタスの量	
10 mg	1.2 μ g

他のサンプルは検出限界以下。

タンパク質の混入 : A260/280

データなし

カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

その他

データなし

共通プロトコルサンプル

アマランサス